

図書館かがわ

香川県立図書館報 第103号

発行日 2014.4.1

Library Kagawa

ISSN 1344-5464



(創立当時の香川県教育会図書館：模写)



<企画展示>

「香川県立図書館のあゆみ～SINCE 1905」
—香川県教育会図書館時代から現在まで—

期間 : 平成26年4月1日(火)
~6月1日(日)
休館日 : 月曜日
(祝休日に当たるときは、その日後において
その日に最も近い休日でない日)



(現在の香川県立図書館：高松市林町)

香川県立図書館は、今年で20周年を迎えます！

平成6年3月28日に高松市林町に現在の図書館が開館して、20年になります。

これを記念して、現在、1階閲覧室展示コーナーで「香川県立図書館のあゆみ～SINCE 1905」と題した企画展示を行っています。

香川県立図書館の前身、香川県教育会図書館(明治38年2月開館)の時代から、現図書館に至るまでの歴史等、県立図書館の今日までのあゆみを資料や写真で紹介しています。是非一度、ご覧ください。

何がでつきよんなー？⑤ ～雑誌コーナーのご案内～

県立図書館では、現在継続中の約1,000誌を閲覧室に開架しています。雑誌コーナーは、閲覧室に入って左方にあり、雑誌用書架に分類ごとに配架しています。最新号は表紙が見えるように書架の棚の前に立て掛けており、館内で自由に閲覧することができますが、一人でも多くの方に最新号の雑誌をご利用いただけるよう、一度に1冊ずつの利用をお願いしています。

なお、利用の多い10誌については最新号をカウンター内で保管しています。閲覧をご希望になる方は、貸出カウンターで、「最新号雑誌館内閲覧申込書」にご記入のうえ、ご利用ください。

〔閲覧室雑誌架〕



バックナンバーは棚の中に配架しており、貸出することができます。

古いバックナンバーは、書庫に永年保存しています。閲覧をご希望になる方は、「資料請求票」にご記入のうえ、カウンターにお申し出ください。

〔書庫内〕



郷土の雑誌、児童向けの雑誌、子育てに関する雑誌は、それぞれのコーナーに配架しています。

こちらの10誌を閲覧するときは、貸出カウンターで「最新号雑誌館内閲覧申込書」に記入して請求してください。

〔カウンター内〕



雑誌のタイトルは、図書館ホームページからも確認できます。

この本オススメです！

～図書館の本棚からピックアップ～

「北斎の富嶽三十六景—千変万化に描く」
大久保純一／著
(小学館) 2005. 9
(請求記号：7218/K3/22)



ゴッホが激賞

富士山が国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界文化遺産に登録されました。

これは、古来より日本の象徴として日本人の山岳信仰や葛飾北斎らの浮世絵の題材になるなど、富士山の文化的意義が評価されたものです。

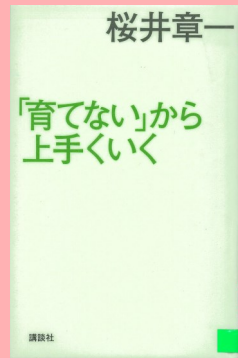
江戸時代後期、七十歳を過ぎて葛飾北斎が発表した風景版画集「富嶽三十六景」は、西洋の画法を取り入れ、独自のアングルで画面に富士山や人々を大胆に配置した作品です。

今回ご紹介する『北斎の富嶽三十六景—千変万化に描く』では、全図版一点ごとに、描かれた構図に隠された北斎のねらいを解説し作品にまつわるエピソードを紹介しています。

例えば、表紙にも掲載されている作品「かながわおきなみうら神奈川沖浪裏」について、波の大きな円運動の先に鎮座する富士—動と静、近と遠の鮮明な対比がこの図の主要な構成要素と解説。また、画家ゴッホが弟テオ宛てた手紙で激賞し、フランスの作曲家ドビュッシーが仕事場に掲げ、交響曲「海」を作曲したことを紹介しています。

本書を通じて一図一図をじっくり鑑賞すれば、「富嶽三十六景」のもつ豊かさに気付かされることでしょう。

「育てない」から上手にいく」
桜井章一／著
(講談社) 2010. 5
(請求記号：37990/S79)



「子どもの育ちを手伝おう。」

子育てについての本のはずなのにタイトルが『「育てない」から上手にいく』？いったいどういう意味だろうと興味を湧いて手に取ったのがこの本です。著者は、かつて「雀鬼（じゃんき）」の異名をとった元雀士。一見、子育てとは無縁のような気がしますが、現在は麻雀道場を主宰し、そこで引きこもりやニートの若者を教えています。また、プライベートでは4人の子どもと5人の孫もいるそうです。本書には、著者が道場へ来る若者や子どもや孫と接することで気付いたことや感じたことが中心に記されています。

気になるタイトルですが、本書の中で著者はこのように述べています。『「家庭菜園で野菜を育てる」といっても、人間は何も育ててはいません。・・・野菜が自らの力で育っている。人も同じだと思います。もし人に何かできることがあるとすれば、「育ち」をほんの少し手伝わせてもらうだけです。思えば、「子育て」という言葉は親が主体です。でも、あくまで主役は子どもであり、親は子どもが自ら育つ力を信じて、その育ちを手伝って行けばいい。そういった著者の思いがこのタイトルに込められているのでしょう。

「子どもの育ちを手伝おう。」という気持ちで子どもと向き合えば、子どもがなかなか思い通りになってくれないことで、ストレスを感じたりすることも減るのかもしれない。日頃の自分の子育てについて視点を変えて考えてみたい。そんな方にお勧めの一冊です。

香川県図書館大会が開催されました。

1月31日（金）、約100名の県内公共図書館の職員が参加して、平成25年度香川県図書館大会が開催されました。

今年の大大会では、まず最初に、高松市中央図書館と坂出市立大橋記念図書館の方による「全国図書館大会 福岡大会」の参加報告がありました。

続いて、綾川町立図書館の方による事例発表「図書館開館2年間の歩み」では、親しみやすい図書館づくりについて報告がありました。

また、各館参加者により、図書館以外の機関との連携などのテーマについて情報交換を行いました。

さらには、京都ノートルダム女子大学の岩崎れい教授による講演「公共図書館と学校図書館の連携」では、子どもたちによりよい読書環境を提供するための方策について考えました。

一年に一度、県内公共図書館の職員が集うこの大会は、参加者同士が連携を深める場ともなっています。



岩崎れい教授の講演のようす

平成25年度 子どもの本と読書の講座

「魅力ある図書館づくり

～アニメーションをはじめよう！～」を開催しました。

平成26年1月23日（木）、講師に久川文乃さん（指宿市立山川図書館 館長）をお招きし、アニメーションをテーマに平成25年度 子どもの本と読書の講座を開催しました。アニメーションは、耳慣れない言葉ですが、読書とゲームや遊びを組み合わせ、子どもが本に興味をもつきっかけ作りに有効な手段のひとつです。

今回の講座では、このアニメーションを初歩から学ぶもので、40名を超える受講生が集まりました。豊富な実践を取り入れた内容は、受講後すぐに活用できると受講生に大変好評でした。



傘を使って、絵本の世界を体験しました。

編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19（香川インテリジェントパーク内）

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>